

MiYAGOSTINI

Vol.11

腎機能低下患者に特徴的な薬剤① 高リン血症治療薬

こんにちは！『MiYAGOSTINI（ミヤゴスティーニ）』第11弾です！

夏が過ぎ秋めいてきましたね。体調管理には十分ご注意ください！今回のテーマは「リン低下薬」です。あまり馴染みのない薬もあるかもしれません。腎機能を確認する最初の一步として、MiYAGOSTINIをぜひご活用ください！

分類	商品名	成分名	保存期	透析	Ca含有	Fe含有	タイプ	毎食	主な副作用
リン吸着薬	カルタン®	沈降炭酸カルシウム	○	○	○	×	—	直後	カルシウム過剰
	ホスレノール®	炭酸ランタン水和物	○	○	×	×	金属	直後	悪心・嘔吐
	リオナ®	クエン酸第二鉄	○	○	×	○	金属	直後	下痢（便秘）
	ピートル®	スクロオキシ水酸化鉄	×	○	×	○	金属	直前	下痢（便秘）
	レナジェル® フォスブロック®	セバラマー塩酸塩	×	○	×	×	ポリマー	直前	便秘、腹部膨満感
	キックリン®	ビキサロマー	○	○	×	×	ポリマー	直前	便秘、腹部膨満感
リン吸収抑制薬	フォゼベル®	テナパノル塩酸塩	×	○	—	—	—	直前	下痢

詳細

【なぜリンの数値を気にするの？】

リンとカルシウムが高い状態が続くと、血管に沈着（石灰化）して、動脈硬化につながります。

【服用するタイミングが大事！】

リン吸着薬は食事と混ぜることで効果を発揮するため、食事をとらなかったり、食後30分以上経過したりすると、効果がありません。

【剤形も豊富】

OD錠やチュアブル錠、顆粒など、各薬剤にさまざまな剤形が存在します。患者さんによっては、透析によって食事摂取の時間帯がずれがちだったり、副作用（下痢や悪心など）を嫌がったりして、いつの間にか残薬がたくさん…ということも起こりうる薬剤です。

患者さんの嗜好に合わせた剤形調節を行うことで、服薬意志や服用性が向上したとの報告もあります¹⁾。

【リンを含む食品に注意！】

リンはたんぱく質を多く含む食品に多く含まれます。添加物として使用されているリン（無機リン）は吸収されやすいため、ハムやカップ麺などの加工食品には注意が必要です。

指導時の

ワンポイント！

- ①まずは腎機能を確認
- ②透析患者かどうか確認
- ③食事摂取の確認
- ④用法の確認
- ⑤副作用モニタリング

編集後記

高リン血症治療薬は、患者さんとのコミュニケーションが要になる薬の1つだと感じています。また、CKD-MBDガイドラインが13年ぶりに更新されましたので、ぜひみなさんご確認ください！（富士宮市立病院 A.I）